

ホームスクーリングで輝くみらいタウンプロジェクト

2019年度 事業報告書



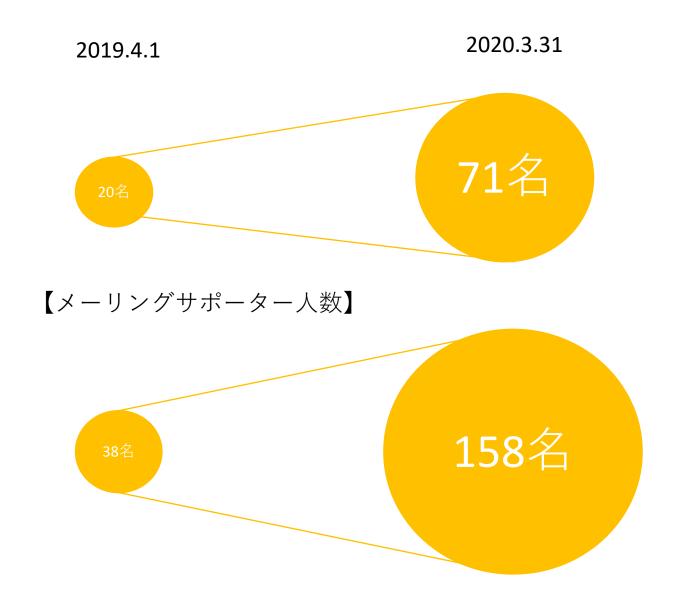
2019.4.1 > 2020.3.31

●2019年度の活動サマリ

年月	定期活動	不定期活動	メディア、受賞歴
2019年 4月	朝カフェ開催	セミナー開催(ビリギャ ル本人・小林さやかさん 講師)、	藤沢市公益的市民活動助 成事業選出、J:COM湘南 デイリーニュース
5月	朝カフェ開催	ワークショップ開催(駄 菓子マルシェ)	5/1改元特別号タウン ニュース藤沢版、J:COM 湘南デイリーニュース、 藤沢市社会福祉協議会発 行「ふじさわボランティ アニュース」
6月	朝カフェ開催	筑紫女学園キャンパスス マイル視察	コトモファーム発行「農 あるくらし」
7月	朝カフェ開催	会計ゼミ参加	
8月	朝カフェ開催、 朝カフェプラス 開催(不登校体 験者をお招き)		
9月	朝カフェ開催、 ホームスクール 畑開始	ホームスクール畑体験会、 会計ソフト導入	レディオ湘南「palette」 に出演、神奈川県HP かな がわ人生100歳時代ポー タルサイト
10月	朝カフェ開催	セミナー開催(日野公三 先生講師)、チーム活動 (法律勉強会)、横浜 シュタイナー学園訪問、 ホームスクール畑体験会	神奈川新聞、広報ふじさわ、J:COM湘デイリー ニュース
11月	朝カフェ開催	チーム活動(ティール組 織勉強会、ギフテッド勉 強会)	
12月	朝カフェ開催	ホームスクール畑体験会	
2020 年 1 月	朝カフェ開催、 朝カフェプラス 開催(古山明男 さん講師)	「藤沢市子ども共育計 画」パブコメ提出	朝日新聞全国版朝刊1面 に続く2面、藤沢市HP 「不登校児童生徒支援に ついて」
2月	朝カフェ開催	チア・にっぽん訪問	
3月	※新型コロナ ウィルスのため 活動自粛	畑カフェ開催、 zoom お話 会開催	

●2019年度の活動成果

【朝カフェLINEグループメンバー人数】



2019年度も多くの方に応援いただき、親同士や地域の繋がりをつくり、社会への周知・啓蒙活動を継続することができました。

毎月開催している朝カフェには、不登校などの理由で学校以外の学びを選択をした親子156名の方にご参加いただき、「普通と違っていいんじゃない?」セミナーには地域の方々180名の方にご参加いただきました。

朝カフェからは独自にチームも生まれ、親達の主体的な活動も広がっています。

こうした親達のポジティブな変化は、不登校やホームスクーラーへの皆様のご理解や 支えがあってこそ生まれてきています。改めて、温かいご支援に心から感謝申し上げま す。(代表 小沼陽子)

●朝カフェ事業

【事業の背景と目的】

不登校やホームスクーラーの親子は、つながりや情報が少なく、孤立 しがちです。

朝カフェは、不登校やホームスクーラーの親同士が集まり、自分のことを素直に語り、そして他の方の話をゆっくり聞き、ゆるく繋がりあいながら支え合い、みんなで成長していく場として、2018年6月から毎月開催しています。









【2019年度の活動と成果】

2019年度朝カフェは13回開催し、156名の方にご参加いただきました。

気持ちがポジティブに変化されたという感想を多くいただいており、親同士で独自に生まれたチーム数は10チームにのぼります。 さらに深く学べる機会を作りたいとの想いから、「講師をお招き して「朝カフェプラス」を2回開催しました。

<参加者の声>

- ◆参加される方で織り成される場に力がある。必要なのは支援では ないのかも。
- ◆親が繋がることで、正解なんか見つからなくも、心もとなくても、 ちょっぴり元気になれたら、それで充分な気がする。
- ◆お留守番していた不登校の長男に優しくなれてる。繋がれて私、 元気になった。
- ◆皆さんの多様なお話、ご意見、ご経験談は毎度毎度心に響いて・・・迷いや悩みでいっぱいの私の心がスゥーっと軽くなり、元気なって家に帰ることができます。この繋がりに本当に感謝です。
- ◆じっくり個々の体験や今の想いを話し合うことで、全く違う価値 観であっても拡大していく感じが素晴らしかった。
- ◆この会に伺う度に我が子が愛おしく感じられ、家でもいつも以上 に笑顔でいられます。皆さんとの出会いに感謝です。

<朝カフェチーム>

・駄菓子プロジェクト・進路あれこれ・手作りチーム・マインドマップ・読書シェア・法律勉強会・ティール組織調べ・こども中心部・ギフテッド勉強会・横浜チーム

●セミナー事業「普通と違っていいんじゃない?」

【事業の背景と目的】

不登校やホームスクーラーの親子は、人目を気にして、外に出られず家にこもりがちになります。 地域や世間の方々の理解を得るために、プロジェクトを応援してくださる著名な方を講師としてお招きし、「普通と違っていいんじゃない?」セミナーを開催しました。

地域の方々や社会へ向けて、不登校の実情やこれからの教育について伝え、不登校やホームスクーラーの親子が生きやすい社会へ向けて周知啓蒙活動をしています。









【2019年度の活動と成果】

2019年度「普通と違っていいんじゃない?」セミナーは2回開催し、多くの方にご参加いただきました。当事者の方からは前向きな気持ちになった、という感想を多くいただき、地域のサポーターも増えました。

【2019年4月 ビリギャル本人 小林さやかさん講演】

- ■参加者の声(参加者120名)
- ・気持ちが前向きになりました。今日から我が子の存在をほめ、話をよく聞き、認めて自己肯定感を高められる母親になろうと思いました。
- ・とてもお話が胸にささりました。今置かれている状況を変えていきたいです。(長女、中3が不登校)

【2019年10月 明蓬館高等学校校長 日野公三先生講演】※藤沢市副市長参加

- ■参加者の声(参加者60名)
- ・今後の選択肢が一つではないことを知ることができ、気持ちが少し楽になりました。
- ・「米国では不登校という概念はない」など世界と日本の教育の違いなどをお聞きして、我が子自身に問題があるわけではないと感じることができました。
- ・不登校の子供との毎日は、苦しく後ろ向きな気持ちがいっぱいになってしまいますが、色々な道があって、楽しく過ごす方法もたくさんあることを知りました。朝カフェにも是非参加したいです。

●ワークショップ事業「駄菓子マルシェ」

【事業の背景と目的】

学校以外の選択をした子供たちは、文化祭など、みんなでイベントを創り上げる経験が少なく、何か機会をつくりたい、との思いから、大学生にも協力してもらい、駄菓子屋さんのワークショップを開催しました。







【2019年度の活動と成果】

■駄菓子マルシェ開催 2019年5月4、5日 ■準備参加者:のべ99名 ■来場者:200名

大人・子供・大学生が交わって、打ち合わせ4回、現地調査1回に わたるシリーズ企画「駄菓子マルシェ」は $5/4(\pm)$ 、5(日)に出店 し大盛況で終える事ができました。

準備段階から携わりお手伝いやご協力してくれた方は全回を通してのべ99名。そのうちお子様はのべ40名、大学生のべ14名。初めての顔合わせではぎこちなかった子供達も出店当日は笑顔いっぱいで元気に活動していました。

「子供達と文化祭をやりたい!」「起業体験的に準備段階から子供とやってみない?」と気楽な気持ちで駄菓子屋出店を決めたものの、はじめてづくしで試行錯誤だらけでした。途中どうなることかと思うところもありましたが、終わってみると子供も大人もとても成長しており、素晴らしい企画でした。



●ホームスクール畑事業

【事業の背景と目的】

フリースクールにもいけない、近 所の公園や公民館や図書館も人の登 を気にして行けない、とても良い居 親子にとって、畑はとてもい行けて、 またです。自由に行けて、とも がに何か聞かれることも野っても誰かに何か聞かれるこまた野菜 を収穫することが自分の自信にも ながります。

藤沢市の助成金を活用し、畑を借りて、2019年9月からホームスクール畑をはじめました。



【2019年度の活動と成果】

朝カフェメンバーでしたら、自由に利用できる畑ですが、ホームスクール畑体験会も4回開催し、30名の方にご参加いただきました。12月に開催した体験会では、お借りしている畑主催の焼き芋会に一緒に参加させていただき、地域の方々と一緒に楽しみました。

畑作業の後にお湯を沸かして、コーヒーをいただく時間もとても楽しい時間です。 3月は新型コロナウィルスの影響で朝カ

フェを開催できなかったため、畑を活用し「畑カフェ」を企画しました。

大人も子供も、心が休まる居場所となって おります。





●その他の事業

【太宰府市筑紫女学園キャンパススマイル視察】



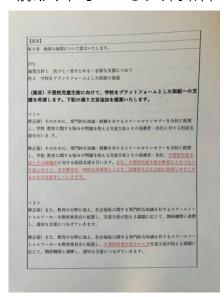
「藤沢市でも、大学と繋がりをつくり、学校以外の居場所をたくさん増やしたい」そんな思いを抱え、私達は藤沢市助成金を活用し、6月22日に事業を視察してきました。

視察では、キャンパススマイル事業を中心的に取り組んでいる筑紫女学園・大西先生だけでなく、サポーター養成講座・講師の長阿彌先生、大学生サポーター、社会福祉協議会の方々、地域の方々ともざっくばらんにお話ができました。

大西先生からみたキャンパススマイル事業の取組だけでなく、大学生の気持ち、社会福祉協会側の考え、地域の方々の感覚など、キャンパススマイル事業を多方面から見る事ができました。大学だけなく、地域の方や行政等、様々な繋がりがあってはじめて、キャンパススマイル事業が実行できたことを知りました。

当事者である私達は、当事者の気持ちを伝え続け、地域にサポーターを増やすことが一番重要な役割であると気づけた、貴重な視察会となりました。

【「藤沢市子ども共育計画」パブリックコメント 提出】



今回の計画は、平成27年4月から令和2年3月までが計画期間となっている「藤沢市子ども・子育て支援事業計画」の次期計画として、令和2年4月から5カ年を計画期間とする「第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定する5年に一度の貴重な見直しに関するものです。

私達の考えている方向性を指し示すことができました。

私達が伝えたかった、おおまかな内容は以下の通りです。

- ◆学校をプラットフォームとする取組なのであれば、不登校の子ども達も学校の空き教室や図書室を自由に利用しやすくするための支援をしてほしい
- ◆不登校などの理由で学校に通っていない子ども達の定期 検診を医療機関と連携して支援してほしい
- ◆多様なニーズに応じた支援教育の推進については、学校 教育だけにとらわれず、多様な学びを支える社会に開かれ た教育をめざしてほしい
- ◆藤沢市教育応援基金を、多様な学びを得られるように子 ども達の教育環境を充実させる原資としてほしい
- ◆公民館などで開催する講座や教室は、学校が休みの時期 だけでなく、通年で開催をしてほしい

ホームスクーリングで輝くみらいタウンプロジェクト事務局: hsmiraipj@gmail.com

●プロジェクトURL: https://homeschooling-town.com

●Facebook: https://www.facebook.com/HSkagayakumiraiPJ/

•Twitter: @homeschool town



今後の継続的な活動に向けて、ご寄付をお願いしております。ご寄付いただける方はこちらのQRコードから、お願いいたします。

皆様の温かいご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

